

廣報廣聽常任委員會會議錄

長 与 町 議 会

広報広聴常任委員会会議録

本日の会議 平成 2 8 年 1 月 8 日

召集場所 長与町議会議場 (第 2 委員会室)

出席委員

委員長	金子	恵	副委員長	安部	都
委員	中村	美穂	委員	岩永	政則
委員	分部	和弘	委員	浦川	圭一
委員	吉岡	清彦	委員	竹中	悟

欠席委員

なし

職務のため出席した者

議事課長	中山	庄治	主事	山田	傑
------	----	----	----	----	---

本日の委員会に付した案件

- ・議会だより第 1 5 6 号について

開会 9時30分

閉会 11時30分

○委員長（金子恵委員）

皆さんおはようございます。定足数に達しておりますので、本日の議会広報広聴常任会を開会いたします。

作業に入りますので、録音を中断いたします。

○委員長（金子恵委員）

作業が終わりましたので、委員会に戻します。17ページの写真の募集に関して皆様から、これでいいのかですね、御意見を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

これは確かに大事なことであるわけですね、誰でも、先日から言ってるように、子供さんとかお孫さんの顔写真を出したいというのは、出てくると思います。そうするともう何十人の人から出てきた時にね、どう対応するかっていうのがまた大変だと思うし、誰かが推薦して強引に入れようとか、出てくると思いますね。だから私が思うには、幼稚園とか保育所が、町内に何か所かありますね。それを回り持ちにするとか、小学校なんかもありますね、中学校もありますね、そういうのを回り持ちにしていって、やっぱりそういうのが良いかなという気がするんですよね。あるいは高齢者のとこでは何か高齢者のスポーツ大会とかね、やっぱりそういうの方が、どうしても一個人とか2、3人の子供さんとかね、やっぱりああいうのは誰でも出したいし、誰でも推薦したいと思うけどね。だからそういう、何と言うかな、公の人たちの、お遊戯とかクリスマス会とか、園児の運動会とか、何かそういう風に、回り持ちで3月号はA園とか、6月号はB保育所とかね、何かそういう形でどうかなと思ったりもするわけですね。私の考えがね。以上です。

○委員長（金子恵委員）

他にありませんか。浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

今回この広報にこの公募の募集を載せてくださいということをお願いをしましたのは、結局、そういう苦情が来たときにですね、公平に皆さんから公募をしておるんですよということをまず、この議会の側で言える体制をとっておきたいと。だから毎回載せていくべきじゃないですかっていうことを申し上げさせていただいたんですけども。それと、先ほどの吉岡議員の発言なんですけど、今回はどこどこ小学校とか順番に決めてということになりますと、この公募自体がですね、当然そこから来るということも考えにくいのでですね、もう公募してやるというやり方を止めるかどうかの話になるかと思いますが、そこはもうそれで、皆さんで撮りに行くということになればですね、私はそれでも、いいかなというふうに思います。以上です。

○委員長（金子恵委員）

他にありませんか。中村委員。

○委員（中村美穂委員）

前回の子どもさんの写真についても、あの写真がどのと言うよりも、子どもさんの写真は誰でも載せたいと、いうことを仰って、でも現実来てないわけですよね。前回も同様に、前回というか6月議会の後に同様に載せているから、私はそれに対してどうのこうのと、複数出て、選択肢があってその中で決めるっていうのが1番いいと思ったんですけど、前回の委員会に出て、もうこんなのはっていう言い方をされたこと自体ちょっとおかしいなと思ったんですね。今度成人式とか、消防出初式に撮りに行くのは、良いと思うんですけども、出されたそのたくさんの中で選ぶ選択肢の一つとして、あれはもう既に没なのかどうか私は分かりませんが、実際こう載せてるわけですから、でも実際何も来ないわけですよねその以外に。で、載せたいんだったら、出してくださればいいと私は思いますし、確かに何人かそういうクレームが来たときにもそういうの出してるっていうことで、理由はつけられますよね。だから、もしその、浦川議員が仰るように、これからもこの体制をとるのであれば載せるべきだと思いますしそうしたらもう、今回もし子どもさんの写真とか、もっと他に載せたい方がいらっしやればそれを出してくだされば1番いいと思いますね。それ用に撮る人ってなかなかいいないと思うんですけど。なので、成人式にしても何にしてもですよ、自分の娘が出れば嬉しい、だけど、じゃあなんでうちの子は、ということになれば、同じ不公平というのは一緒なんですよね、はっきり言って。だから、そういうことも含めれば、こういうことを載せていった方が良いのかも分からないですよ。だから、今後のたくさん来たらどうするかっていうのは、それは嬉しい悲鳴と言うか、多分無いと思いますので、そこまで裏まで見てね、応募される方が実際いないと思いますし、これからたくさん来ていただければそれは嬉しいけれども、なかなかないと思うので、今後これを続けるのであれば、載せるべきであろうし、次はどこ次はどこって決めていくのであればもうそれは1人の仕事として全員委員が必ず、写真を撮るのが上手いとか下手とか、そういうことじゃなくて、全員が取り組まなきゃいけないということも含めて考えられたらどうかと思います。

○委員長（金子恵委員）

他にありませんか。まず、吉岡議員が仰った持ち回りでお願いをするという意見と、このまま、公募して、公募を重ねて行って、そして写真が来れば選んで載せていくという、そういう意見がありますけれども。竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

私が発端だから、ちょっと私の考えを言わせていただくと、私も個人的に、今回正月に、同窓会があつてね、人間が集まって、何十人かいたんですよ。ほとんど電話の待ち受け画面、自分の孫ですね。もう大体7割以上が孫なんですよ。それで出したいんだけどね、それは恥ずかしくて出さない人もいる。だけどやっぱり自分の子供が1番可愛いと思ってるんですね。だから、それは私達みんな察して、出す人が出し得たらそれ

で良いのかもしれないけど、議会の公的な立場の中では、なるべく個人を中心にしないで全体的なバランスを取りながらね、いったほうが僕は良いと思う。だからこないだのね、あの人が良い悪いということは僕は一切言ってない。ただ、個人のね、分であると、やはり、何も言わない人もやはり批判が出てくると。文句があるなら出せばいい、そういう問題ではないと思う。だから趣旨が違う。だから私は、今吉岡さんが仰ったように、ずっと持ち回りでやってもいいし、その中で笑顔というのはね、写真に写るときはほとんど笑顔ですよ。だから、そういう分では撮りやすいのは僕はたくさんあると思う。それについてはね、もう少し僕は話し合いをして良いと思う。今決めてしまわなくても。だからその、公募するなら公募していいけど、逆に言ったら、そのときにね、僕もこの間からいろいろ問題があったから新年会の時に話をしたんですよ。そしたらね、あんた達俺が言えば出してくれるねと言えば、よかよ出すよという人はたくさんいるんですよ。はっきり言って。しかし、自分から進んで出そうという人はあまりいない。その人達の心境を考えると、やっぱり少し考えてやって、やっぱり進めた方がいいんじゃないかなと僕は思ったから、前の意見と一緒になんです。特に子供さんの写真というのは、やっぱり親が子供が1番、自分のが可愛いと思ってるんだから、しかし複数であれば、これはその限りではないと思う。1人をね、逆に言うと産まれた子どもをね、赤ちゃんの写真を自分で写して、可愛くてたまらんとこれを持ってくるというんだったら何人もいますよ。それを選択できなくなる。何回も言ったように長崎新聞とかには毎日載ってるじゃないですか。犬とか猫まで載ってますよ。自分のを出したくてたまらない人はたくさんいるんですよ。だからそういうことじゃ議会は公的な感覚ではだめじゃないのかなと僕は思ってる。僕の意見としてはそういう意見ですよ。

○委員長（金子恵委員）

安部委員。

○副委員長（安部都委員）

以前のですね、広報の研修会的时候も、この子どもの笑顔で表紙を出したときも非常に、この長与町の表紙がですね、子供さんの笑顔がとても良いついで、褒められたということで、あったんですけども、やはりその1人だろうが2人だろうが3人だろうが、団体であろうが、やっぱりそのときの瞬間の笑顔ってすごく大切なんですよね。そしてまた、園を回ってもね、担当で、それぞれの園を回って撮ってもよろしいでしょうが、やはり皆さん長与町民のそれぞれの住民の方たちが、自分の子どもを出したい、それはもうそれぞれ出していただいて、先ほど中村議員が言ったようにほとんど出ないので、それはこの募集をね、毎回かけていきながら、そしてまた、ほとんど出ないので、やっぱりこう、それぞれのところの園を回ったりね、笑顔っていうのを、季節に応じて、笑顔を子供たち、高齢者の方たちの笑顔を撮っていくっていうのは、やはり住民の方たちの参加の意味では、やっぱりそういったことで、して、撮っていかなければいけない。出していただきたいっていうのはあるんですが、やっぱり、回ってね、

1人だろうが団体だろうがやはり、笑顔っていうその瞬間を撮るのがやっぱり大事じゃないかなと。だからインパクトのある、あまりこだわらなくていいと思うんですよ、それぞれね、誰が出した彼が出したっていうのはやっぱりあまりこだわる必要はないと思うので、掲載をしていくと、そしてまた、それぞれ募集はしていったら、こちらからも、それぞれの園に撮りに行ってもいいですし、あまりこだわる必要はないと思います。

○委員長（金子恵委員）

分部委員、いかがでしょうか。

○委員（分部和弘委員）

私はですね、個人的に撮った写真よりも、やっぱり行事、あるいは、催し物の1コマというような感じで、こう書いてあげとけば、個人的なやつはだめだよっていうような形でやるとけば、特に問題ないというふうに思いますし、締め切りを早目にしとって逆に、来なかったらこちらで対応するという体制をとるとけば特に問題はないのかなというふうに思います。

○委員長（金子恵委員）

岩永委員いかがでしょうか。

○委員（岩永政則委員）

私はですね、この前申し上げたように、募集をすることについては、それはもう何ら問題ないというのが一つ。整理していけばですね。ただその中でやっぱり節度をもった表現をしておく必要があるんじゃないかということは、やっぱり1人ですね、1人の個人的なものですね、やっぱり除いた方がいいんじゃないか、だから公的なものでですね、良い写真がたまたま公的な場面でですね、1人になるかもしれませんよね、だから身内の写真というのはやっぱり除いて、公的な場で、第三者を、良いカットがあったらですね、それはたまたま1人の写真になる場合もあるわけですね、それはやむを得ないんじゃないかと。だから、身内の物を除いたですね、公的なものとしてですね、ちょっとこう、字句を明確に入れておいてですね、それで募集をすると、その都度ですね。それで期限もいつまでですよというのをつけておけばですね、募集については何ら問題ないということですね。今、こう見よったんですが、その時代その時代の編集委員会の考え方で、昔・今、例えば長与駅が出て、今はこう、そういうシリーズでやられたときもありますよね。だから今回笑顔ということですから、それを募集して、それに必ずこう入れてね、私的な部分は除くということをして、節度を持つとったほうがいいんじゃないかなという感じを持っています。

○委員長（金子恵委員）

皆さんからいろんな御意見をいただきましたけれども、公募することには、良いだろうというところで、この公募の内容ですね、個人的な写真というのではなく、いろんな行事の中でのワンショットを送ってくださいというふうな旨で、公募したほうがいいのではないかという御意見があるようですけれども、この公募に関して、やはり岩永委員

が仰ったように節度をもった部分というのにも必要かというふうに考え、この説明文中にですね、さまざまな行事でとか、そういうものの中でのワンショットという部分を加えて公募をするというところである程度の公平性を保とうかという、御意見ではなかろうかというふうに思いますが、いかがですかね、そういうふうな募集の仕方でもた公募を続けるということによろしいでしょうか。浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

公募をかければですね、やっぱり、例えば1枚出てきた時に優先せんばならんと思うんですよ、公募で出してくれた、そこがまず優先だと思います。そしたらその写真が、皆さん見られて、こんな写真では、と思われたときにでもですね、やっぱりこの公募で出たやつを優先せんといかんとかなという、私はそういう気持ちでおるんですけども、そうなるそうですね、当然選択肢がそこにしかないもんですから、できれば、行政もいっぱい持ってますよね、いろんな、例えば、総務の広報で撮るやつもあれば、いろんな教育委員会で撮るやつ、福祉で撮るやつとか、そういったものを、いただいて載せられないのかなというのもあるんですね、私がこの公募を言うのは、1回公募をしようということを決めて、そして、こういう募集をかけて、そしたらこれをある程度優先せんといかんとやろうなという思いで今言いよるんですけども、だからそこをもう、1番最初言いましたように、1枚とか来てあんまりぱっとしないよなと言うか、ちょっと載せるにはどうかなというふうな写真が来たときにでも、そこを優先せんばいかんということになればですね、別にもうこの公募はやめてですね、いろんな写真を撮りに行くのも一つの手段かもしれませんけども、そういったところを訪ねて、探して持ってくるかですね、結構あるようなんです。写真自体は。別に議会だから使えんとかということではなくて、そういうのも参考にさせていただければいいんじゃないかなというふうには思います。

○委員長（金子恵委員）

浦川委員から、今のご意見が出されましたが、発言をしたいので委員長を交代します。

○副委員長（安部都委員）

金子委員。

○委員長（金子恵委員）

感覚的に写真というのは、基本、正式な、土地区画整理事業ですとか、そういうものの写真以外はやはり議会は議会で、きちんと、自力で撮るというところが基本であるというふうに今まで4年間広報で言われてきたので、その感覚がなかったんですけども、やはり議会だよりですので、所管とかからいただく、そういうものではなく、やはり自分たちで手がけて写真を撮ってくるっていうのは、私の感覚としては基本ではなかったろうかという、基本ではないかなというふうに思うんですね。住民参加というところで募集をかけようかという話が1番最初の発端だったので、1枚の場合はなかなか選択肢がないというところで、心配もあるとは思いますが、前回、したところ、結局

は中村議員が言うように、なかなかこう、応募してもらえない、そして、やっぱり自分で撮らないといけないというのが、今の現状ですので、ここに一行ですね、行事、公的な行事の中でのワンショットというところ含めたところで募集がなければ、そのとき、議員さんも、行かれた方が撮るでしょうから、その中からやっぱり選んでいくことになるんでしょうけど、来れば幸いというところで公募はかけてもいいんじゃないかと。公募はかけて、写真は余所には頼らないというところの考え方でいたほうが良いんじゃないかというふうに私は思います。

○副委員長（安部都委員）

委員長を交代します。

○委員長（金子恵委員）

どうでしょうか。この公募の文の中に、公的な行事の中でのワンショットというところを加えて、再度公募するというところでご意見が2名3名、あったようですので、それで今回ですね、議会だよりの中に、入れて公募してみるというところで、皆さんどうでしょう。よろしいでしょうか。吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

だから公募はね、今出てるようにそれはいい。だから大衆とか、公とかいう中で、そしてなおかつ、無い場合には先ほど言うように、初めからそれは各幼稚園とか保育園もあるでしょうし、無い場合そういうところをお願いして、たくさんあるわけですね。クリスマスとかあるいは、いろんな中間中間のね、お願いに行けば、写真なんかありますよね。あるいはまた写してもいいかもわからんし、だからそういう中で、公募というのを基本的に考えていけば、やっていいんじゃないですかね、それを基本的に打ち出して、おるわけだから、あとだから個人的なことが無いようにやっていけば、良いと思いますけどね。

○委員長（金子恵委員）

では、一応、公的な行事の中でのワンショットというところを加えること、そして各個人の委員さんで写真を撮りためていただいております。必要かなというところと、写真がなかなか無いときは、いろんな園とか、小学校にお願いをして写真を探しに行くというこの三つの選択肢の中でのどれかで表紙を決めていく、基本は公募の中からというところで、表紙を、あと5回ありますので、それで選んでいくというところで、とりあえず今回は、一行を入れて公募を行うというところでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ではそちらの方の文章はですね、また改めて、作って、最終の発行までに、きちんとしていきたいと思いますのでそちらの方の分と、そしてあと、いろんな訂正箇所が出てくるかもしれませんが、そちらの方は、正副委員長そして事務局の方に任せていただくということよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

他に皆さんから何かありませんか。竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

今ちょっと僕気になったんだけどね、もうその公募については、僕もとやかく言わないけど、僕らが必ず写真を撮っていくという委員長の発言が出たけど、僕らははっきり言って写真あんまり撮ったことないですよ。どのへんが良いものかというのは自分の主観でしかないね。この主観が皆さんに通用するかと言ったら通用しないと思う。だからね、広報の役場の方でも写真はたくさん写してるわけですよ、消防にしても成人式にしてもね、いろんな催しの中でね、これを、逆に言ったら、参考にさせていただくというのはね、我々は選ばばいいわけでしょ、要はね。私たちが撮りに行くというのは、そう簡単にかかない。僕らはプロじゃないから。やっぱり載せる以上はやはり、ある程度しっかりしたものを載せなくてはいけない。だからさっき委員長が言ったね、ちょっとそのことだけ僕は引っかけたんだけど、自分たちで撮らなくちゃいけないというのはね、ちょっと違和感があると思うんですね、僕はね。どういう発想で、もちろん広報広聴委員会が出来たから、この委員会で何でもしなくてはいけないということは、それは気持ちはよく分かる、しなくてはいけない、しかしそういう技術面においては、それはそこまで制約をされると僕はなかなか難しいと思う。だってわざわざ、いろんな会があるときに写真を写させてくださいと行政の方はどンドンどンドン写してるじゃないですか。この人たちはある程度写真撮れる人達ですよ。我々は機具もない。スマートフォンで写す写真くらいしかないですよ。僕はそれしか持たんけんね。だから、そこまで言われると僕もちょっとやり切らんというかね。それをちょっと一言僕は申し上げておきたい。

○委員長（金子恵委員）

他ありませんか。吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

他ありませんかということは、この、これについてのことね。ちょっと僕も心配したけども、原稿用紙をいただきますよね、千文字以内ということで、ちょっと僕も今回初めてびっくりしたとばってん、ちょっと初めよく覚えてなかったもんだから、もし写真を2枚するならばね、何行、何字までとか、写真一枚やったら何字までとか、そういうところちょっとこう、していつとかなと、今まで通りで僕も考えてたもんだから、千文字なら千文字書いて写真2枚しようと思ったらできなかつたわけね。だから今後、写真2枚やったら、もう800字ぐらいしかできないとかね、そういうのは一つの基準がこう、しとかなと、あてはまらんんじゃないかと僕は思うわけね。これがね。それに今度は中見出しとかなんとか入れよったり、あるいは、第2問第3問目の問い答えを入れよったら、ものすごく減るんじゃないかという気がするわけですね。そのところだから今後、それが当てはまるように、やってもらいたいという気がありますね。

○委員長（金子恵委員）

主事。

○主事（山田傑君）

すいませんその点についてちょっと、説明をさせていただければと思うんですが、一般質問の記事の件を仰っておられることと思うんですけども、書き方ですね、原稿用紙が千文字書けるようになってるんですけども、行数が77行までということで、今までの書き方、153号までの書き方ですね、発話者の名前を書いて、その下から文章を始めるという書き方でずっとやってきていたもので、今回のように、発話者がいっぱい出てくるとそれだけ改行の必要性が生じて、写真のスペースを圧迫してしまったところで、写真を2枚載せられなくなったというのが今回、発生してしまったわけですね。ですのでスペースの問題というのは文字数というより行数が関わってくるんですよ。行数が多くなれば、それだけ写真を載せるスペースが圧迫されてしまう。発話者が多くなると、それだけ行数も増えてくるということですので、今度から訂正すべきというか、統一すべきなのは、写真を何枚載せるから何字以内、というふうにするのではなくて、今まである千文字の原稿用紙で、書き方を、発話者の下から始めるのではなくて、発話者の次の行から内容を書き始めるというふうに統一することで、写真を今までどおり2枚載せるとかっていうことは担保できるのかなと思います。また、中見出しの数というのは、決まりがあるので、それによって過度に圧迫されるっていうことは発生しないのかなというふうに考えております。以上です。

○委員長（金子恵委員）

吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

ということは、今出てるように、また元のほうにするか、今やってるようにするかによって、自分はやっぱり写真は2枚載せたい、僕だけじゃなくて他の人も出てくると思うわけですね、だから、どういう記事の作り方をするか、やっぱ早目にそういうのは、次回に向かって、3月議会もあるわけですので、検討してもらっていけばいいと思いますけどね。このままでいけば、ちょっとやっぱり行数をね、引込めんばいかんとなってくると思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（金子恵委員）

他にありませんか。岩永委員。

○委員（岩永政則委員）

竹中議員が言われたものの整理はね、しとかんといかんのじゃないですかね。だから、一つはですよ、今年度になって公募もいたしましよねというのはもうみんなで決めたことですからね、これは忘れんように、お互いしてですね、これが一つ。問題はその内容の問題になったわけですたいね。それで、このあたりをみんなで協議をしたのが、私的なもの、個人的なもの除いて公的な行事等で撮っていただくということまで出ましたよね。ところがそこで、委員長が自分たちで撮らないといかんと言われるようにね、

聞こえたもんだから、今ちょっと異論があったわけですから、例えば、浦川議員も言われたように、役場の写真とか、あるいはその他、個人的なものですね、そういうものがある行事のときの写真というのは、これは良いねと、使えるねと、そういうものの活用も良いというふうに思うんですよ。あの行事があるから、あれを今度はしようねとか、ということでみんなです、手分けして、だれかが撮りに行くとかね、そういうものとか、いろんな資料をですね、トータル的に活用すると、ということですね、自分たちが撮らないかんのですよというね、そういう趣旨じゃなかったということと言われる、そう聞こえたように私は思うんでね、だから良いものを活用していこうと、だからその中の一つの住民の参加と言う意味から、公募もですね、していきましょうねと、これはもうさっき言いましたように合意したわけですからね、それもしながら、ただ条件を付ける。それで最終的には編集委員会で、この委員会で決定しますということもですね、付記しとけば、載らなくとも、理解はできますのでね、そういう何か、ちょっと整理をしかんと、竹中さんの言いつばなしになってね、今の状況だろうというふうに思いますから、整理だけしてください。

○委員長（金子恵委員）

吉岡委員。

○委員（吉岡清彦委員）

別のことでね、今よく傍聴者に記事を書いてもらってますね。僕はずっと初めから疑問に思ってるのが、名前出さずに匿名でしてるわけですけども、僕ははっきりとやっぱり自分の名前をね、出して僕は良いと思うんですよ。せっかく来て、良い記事書くわけだから。匿名じゃなくしてね。僕はそういう方向に傍聴者の人たちの記事もね、自分の名前を正々堂々と、吉岡清彦なら吉岡清彦と書いてからね、提出するというね、僕はそういう方向で、ちょっと検討してもらえればなという気でおりますので、よろしく願います。

○委員長（金子恵委員）

最初の撮影の分ですけれども、強制的に言ったことではなく、参加した際にですね、公募がなかった場合のことを考えて、写真を撮っていただいたら、選択肢の一つになるかということで、発言を申し上げました。ですから今後ですね、今回の成人式など、今後卒業式、入園式とかあるでしょうから、そういうところで、ちょっと写真を撮っていただいて、公募が無かった場合の一つの選択肢として、できるように、撮っておいていただきたいというところの趣旨でございます。それと、一般質問の中の写真の分ですけれども、こちらの方は、千文字というのは、基本ですので、それで、2枚ちゃんと入れられるようなレイアウトのやり方というのを業者の方をお願いをしまして、不都合のないように、次回ですね、きちんと再度考えていこうというふうに思っております。安部委員。

○委員（安部都委員）

先ほどの表紙の写真なんですけれども、私たちがですね、例えば行事の中に入って、すばらしい、良いショットを撮るといのは、何百枚何千枚撮らなければ、多分1枚撮れないんですよ、本当に良い写真といのは。その中で何枚かの中で選ぶといのは本当に非常に難しいところなので、先ほど言われたように、保育所とか幼稚園の行事、そういったところで良いのがもしなかった場合、例えば公募が来ても先ほど浦川議員が言われたように、こんな写真をとというような写真もやっぱりあると思うので、そういった写真が公募で来た場合、それが載せられるかとなったらまたこちらも選定しなくてはいけないと思いますので、そういったときに載せられない場合ですよ、何もなかった場合は、やはりその幼稚園とか保育園とかいろんなところで撮った写真を借りてきてと言われましたけど、それは、やはりプロが撮った写真でありますので、例えばこの庁舎内で撮られた多くの写真が、やっぱり行事の良い写真がありますよね、そういった写真も結局同じじゃないかなというふうに思うんですね。最悪の場合、こちらで努力していろんな形で撮ってもとれない場合は、そういう、庁舎の中で撮られた写真も活用するというのが一つの手じゃないかなと、絶対これはもういけませんといのは、どうなのかなというふうにも思いますので、そのあたり、先ほど岩永議員も言われたように、それもありなのかなというふうにも思いますので、そのところはどうかね。

○委員長（金子恵委員）

安部委員からの御意見がありましたけれども、基本は公募、そして、その他、議員さんが撮りためた分の中から、そして、どこか、それでも写真がない場合は、そういうふうな、小学校とか園とかにお願いをしてみず探して、それでもっていう場合、そういうふうな、選択肢を広げておきたいというふうには考えておりますので、その中で1枚の写真です、選んでいこうかというふうに思っております。竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

議事運営の中で話をしたいんだけど、だいたいその意見の集約といのがなかなか難しいみたいだから、一つのレジュメを作ってきて、そして一つずつ、今日出たことを一つずつ書いていって、そしてそれについての結論をね、今はみんな委員長が回答を言ってしまうから、皆さんの意向の中で決定をしていくといね、そういう議事の進め方をしたほうが良いと思う。今日はもうみんなが意見をそれぞれ出していただいた分をね、事務局で集約しとってもらって、こういうのが出たから、次の委員会ではこれを一つずつ決定をしていくといね、そういうふうな進め方をしないと、今こうして話をしとってね、結局写真はどうなったとかなと、まだこんくらいの感覚ですよ。だから、さっき言った、ちょっと蒸し返して申し訳ないけど、写真にしてもね、僕は一般質問の写真自分で撮ったこと一回も無いですよ、29年。みんな役場にあるね、いいものを使わせていただいている。このごみの焼却炉なんて僕はこんな飛行機の上から写すことできないもんね。しかし住民にはこれはそうした方がわかりやすいでしょう。だから、良いものがあるからそれをいただいて、載せさしていただいている。みなさん撮ってきたものば

っかりかもしれないけども、多分半分は違うと僕は思う。ここにあるものを使ってると思う。だから、そういうのはね、別にして、要はその議事の進行としては、決定がなかなかされてない。僕が今話を聞いたら。だから、要はその、一つずつね、今日上がった議題を、議事録に残ってるわけだから、それを委員長副委員長事務局で精査していただいて、もう一回、次回の委員会で一つずつ解決をしていく、そういうことを要望していきたいと思う。

○委員長（金子恵委員）

今回の表紙に関しましては、先ほども申しあげましたように、次回の出初式と成人式の中から選ばせていただいてキャプションも考えさせていただくというところで決定をさせていただいたわけですが、今後のこの取り扱いに関してはですね、一応公募は、する、というところで、皆さんのご意見をいただいておりますので、その他のことに関しましては、次の広報広聴常任会において、資料をお作りしてですね、皆様との意見の中で一つ一つ、決定をしていきたいというふうに思います。あと、先ほど、傍聴席からというところで、吉岡委員から御意見がありましたけれども、今傍聴席の方に配布しておりますアンケート用紙というところには、氏名を記載するところがありません。このことに関しましても次の議会までにですね、名前を記載してもらうところ、そして載せてもいいかどうかの承認を得るための「はい」「いいえ」の部分があるかと思しますのでそういうところを含めて、そちらの方も一緒にですね、次回の157号に向けて検討するというところで、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

他ありませんか。無いようでしたら、本日の議会広報広聴常任会を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

（閉会 11時30分）

委員長